

えんがわ だより



TAKE
FREE

No.220 2026.10.

市民活動支援センター
ホームページ

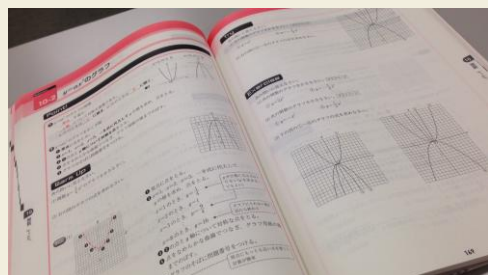


特集：

NPO法人 子どもの未来を紡ぐ会

毎週土曜日、市民活動支援センターで子どもたちに算数・数学をマンツーマンで教えている「NPO法人子どもの未来を紡ぐ会」。

活動を始めて今年で10年目を迎えました。活動の成り立ちや、ボランティアの内容、どんな方に活動してほしいかについて代表の多田さんとボランティアの皆さんにお話をうかがいました。



■活動経緯 — 4人に1人という数字に驚いて（代表多田さんのお話）

私は以前から「子どもの貧困」に強い関心を持っていました。いろいろ調べる中で目にしたのが、自治体が経済的に困っている家庭に支給する「就学援助」の支給率です。当時の東京で、およそ4人に1人という数字に驚きました。こうした援助は申請が前提なので、実際に困っている子はもっと多いはずです。「困っている子たちはいったいどれだけいるのだろう」とショックを受けたことが、支援を始めたきっかけです。

活動するのならしっかりやりたいと考え、2016年12月に法人登記をしました。その後、活動できる場所を探して市役所などに相談する中で市民活動支援センターを紹介していただき、2017年10月に活動をスタートしました。

最初の1か月ほどは私一人でしたが、少しずつ子どもが集まり、ボランティアも増えていきました。スタート当初から続けてくださっている方が今もいます。

子どもは一人ひとり学習の進み具合が違うため、一斉授業の形式ではなく、開始した頃からマンツーマン形式で

指導しています。このやり方は現在まで変えていません。今は小学3年生から高校3年生までの児童・生徒を受け入れています。

参加のきっかけは圧倒的に「紹介」が多く、子ども家庭支援センターや福祉関係の窓口チラシを持って行き、支援が必要なご家庭につないでいただく——そんなアナログな方法が一番効果的でした。

また、「経済的に困っている家庭の子だけが通う場所」と見られることは避けたいと考え、どなたでも参加できる形にしています。

■学習支援の内容について — 教えるのは算数・数学だけ

ボランティアの皆さんには、子どもたちに算数・数学をマンツーマンで教えていただきます。弊会で扱う教科は算数・数学のみです。

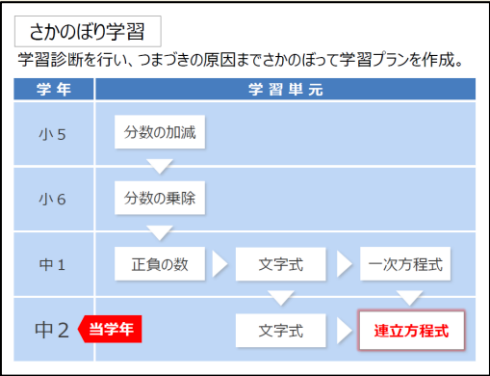
これには理由があります。弊会ではつまづいたところまで戻って学び直す「さかのぼり学習」を取り入れています。算数・数学は単元同士のつながりがはっきりしていて、たとえば中学1年の一次方程式ができないと、中学2年の連立方程式には進めません。調べれば、どこでつまづいているのかが明確に分かるのです。

「昨日の自分より今日の自分のほうが前に進んでいる」という実感を子どもたちに持ってほしい。そのために、確実に成果が出せる学習をプログラムとして組めるのが、算数・数学だと考えています。

何より大切にしているのは、子どもの自尊心を傷つけないこと。「分かった」「前に進めた」という経験を確実に積み重ねてもらうことを目指しています。

内容は基礎レベルが中心なので、どんな方でも無理なく教えられる。

高校数学は難しいという方も、ご相談に応じます。弊会は担当制をとっており、ボランティアと子どもとのマッチングを大切にしています。「小学生の算数なら教えられる」という方も大歓迎です。



■どのような想いを大切に活動して欲しいですか？ — 「教えたい」より「助けたい」

弊会は勉強を教える活動ですが、「教えたい」よりも「助けたい」という気持ちを大切に活動していただきたいと思っています。実際、今集まってくださっている方も、そうした想いを持った、子どもに本当に優しい方ばかりです。

残念ながら、家庭の収入と学力には、驚くほどはっきりとした相関関係があります。学力の差だけでなく、それが夢や希望の差にもつながり、「自分は勉強ができないから、頑張っても無駄だ」と努力そのものをあきらめてしまう悪循環が生まれます。生まれた家庭によってそれが決まってしまうのは、とても悲しいことです。

この連鎖を断ち切らなければ、また同じことが繰り返されてしまいます。子どもたちの未来のために、力を貸していただける方をお待ちしています。

■活動日 毎週土曜日 10:00～11:30 ※第5週目の土曜日を除く 場所：市民活動支援センター

ボランティアからのメッセージ

【ボランティアのAさん】

人生の後半に見つけた、家庭以外の楽しみ。学習支援ボランティアで子どもたちと過ごす時間が、日々の生きがいになっています。「先生、あのね!」と笑顔で話しかけられると温かい気持ちになります。

【ボランティアのBさん】

土曜日の午前中は、地域の子どもの成長を見守る大切な時間。一人ひとりの「違い」が輝き、「できた!」という瞬間に出会えることが何よりの喜びです。私自身の心も満たされる、最高のウェルビーイングです。

【運営ボランティアのCさん】

縦世代のライフサイクルに触れる時間は私にとって新しい発見の連続。世代を超えた関わりは、自分の世界や視野がぐっと広がりました。

◆次ページにボランティア募集の詳細を掲載しています。

市民活動支援センター運営委員会について

センターの円滑な運営及び利用者の視点に立った効果的な事業推進を図ることを目的に設置されています。



令和8年度運営委員会の開催報告

以下の議題について、報告、審議、協議を行いました。

<日時>

第4回 9月16日(水) 19～21時

<内容>【第4回】

- ・センター運営状況と各種事業の進捗(報告)
- ・利用団体からの意見、要望について(協議)
- ・各部会の進捗状況、今後の進め方について(協議)

今後の運営委員会日程

第5回 12月18日(金) 19～20時

第6回 1月16日(土) 10～12時

市民活動支援センター運営委員会議事録は、HPで公開されています。



市民活動支援センターHP

ボランティア情報

活動の際は、ボランティア保険の加入を推奨しています。ボランティア情報の掲載を募集しています。

学習支援ボランティア募集

小学3年生から高校2年生までの児童・生徒への学習支援ボランティアを募集します

【募集内容】 NPO法人子どもの未来を紡ぐ会が運営する学習教室ミライエの運営 算数・数学の指導

【日時】 毎週土曜10時00分～11時30分（第5土曜は休講）

【申込み】 WEBサイト <https://tsumugu2017.jimdofree.com/>

ボランティア応募ページよりお申込ください。

【場所】 市民活動支援センター はばたき 【備考】 謝金あり 【定員】 若干名

【問合せ】 ☎ : info@tsumugu.org

NPO法人子どもの未来を紡ぐ会 多田



子どもの未来を
紡ぐ会WEBサイト

放課後の送迎ボランティア募集

都立久我山青光学園に通う小学6年生男児（弱視、軽度の難聴）の送迎

【募集内容】 吉祥寺までは、スクールバスで下校／スクールバス停留所（吉祥寺駅近く）までのお迎え
吉祥寺駅からは、公共バスと一緒に乗り、自宅の最寄りバス停までの付き添いの活動

【日時】 スクールバス停留所にお迎え

毎週水曜日は、14時55分／金曜日は、15時50分

【場所】 小田急バス6番乗り場「吉04深大寺行（野ヶ谷行）」のバスに乗車／バス停「北の台」で下車

【備考】 月1回の活動でも可。初回は職員が同行する体験から始めます。

【問合せ】 小島町コーナー（担当：佐藤）

☎ : 042-481-7695 FAX : 042-481-6611（月～金）

スマホ相談コーナーをサポートしてくださるボランティアを募集します

CCDでは、福祉まつりで、スマホ相談コーナーを開設します

【募集内容】 主に障がい者、高齢者、女性などへの支援を目的として、スマートフォンの基本的な使い方を説明します。

【日時】 12月5日（土）9時30分～14時30分（準備、片付けを含みます）

【場所】 調布市総合福祉センター2階ボランティア活動室

【対象】 スマートフォンの基本的な操作に慣れている方、福祉活動に関心のある方

【定員】 5人 【備考】 昼食はこちらで用意します。

【問合せ】 担当：CCD代表 神尾仁之（かみおじん）

☎ : 090-5558-2537 ☎ : ccd.jin@gmail.com

※CCDとは、

障がい者の自立と社会参加を支援し生活の向上を図り、社会の一員として貢献すること、また、インクルージョンの理念に基づき、障がいの有無にかかわらず誰もが地域で豊かな人生を送ることを目的として、活動している団体です。

ボランティア一覧
市民活動支援センターHP



センターからのお知らせ

詳細はお問合せください。お知らせに掲載する情報を募集しています。

令和8年度調布市災害ボランティア基礎講座

【内容】 災害ボランティア活動事例や活動内容、活動にあたっての留意点などを学びます。
これから災害ボランティア活動をお考えの方、ご参加お待ちしております。

【日時】 11月25日（水）19時00分～21時00分

【講師】 宮崎賢哉氏（災害支援・防災教育コーディネーター／社会福祉士）

【場所】 調布市総合福祉センター2階 201・202会議室

【定員】 30人（申込制・多数の場合抽選）

【対象】 市内在住・在勤・在学で18歳以上の方

【申込締切】 11月18日（水）



ちょうふチャリティーウォーク2026

【内容】 市内各所に設置したチェックポイントを歩いて回るスタンプラリーです。どなたでもご参加が可能です。
皆さまからいただく参加費は全額、調布市内で社会や地域の課題解決に取り組む活動団体を支える助成金「えんがわファンド」へ寄付されます。

【日時】 11月8日（日）

10時00分～16時00分

（受付9時30分～12時00分）

【場所】 調布駅前広場にてスタート

【費用】 高校生以下100円、大人500円

（小学4年生以下は成人保護者の同伴が必要）



【掲載に関するお問合せ】 市民活動支援センター TEL: 042-443-1220 Mail: npo-center@ccsw.or.jp

えんがわファンド サポーター募集中!



調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成します
1口3,000円（年間）
令和8年度サポーター期間：
2026年4月1日～2027年3月31日
会費は、地域や社会の課題を解決するために調布で活動するボランティア・市民活動団体等を応援する助成金「えんがわファンド」の原資になります。

サポーター会費は郵便局でお振込みいただくことができます。
振込口座：00190-9-583840
口座名義：社会福祉法人
調布市社会福祉協議会
※通信欄に「サポーター会費」とご記入をお願いします。

えんがわだよりに掲載する、 ボランティア・市民活動団体の情報を募集しています。

市民活動支援センターでは、ボランティア・市民活動の支援および相談を受け付けています。
「私たちの団体、活動の情報を発信したい！」方、市民活動支援センターまでご相談ください。

ボランティアの
募集に
関すること

市民活動団体の
紹介に
関すること



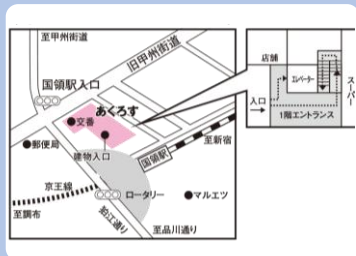
市民活動団体の
行事の告知に
関すること

市民活動団体の
メンバー募集に
関すること

※営利目的、または特定の政治、宗教上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とするもの場合は、掲載をお断りする場合があります。

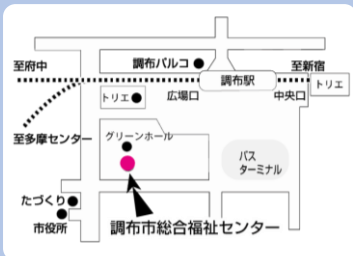
市民活動支援センターと、7カ所のボランティアコーナー

●市民活動支援センター



国領町2-5-15コクティ2F
TEL 042-443-1220
FAX 042-443-1221
Mail : npo-center@ccsw.or.jp
【開】8:30～22:00
【休】第3月曜日
(祝日の場合は翌平日)

●小島町コーナー



小島町2-47-1
総合福祉センター2F
TEL 042-481-7695
FAX 042-481-6611
Mail : npo-center@ccsw.or.jp
【開】月～金 9:00～17:00
【担】佐藤

●染地コーナー



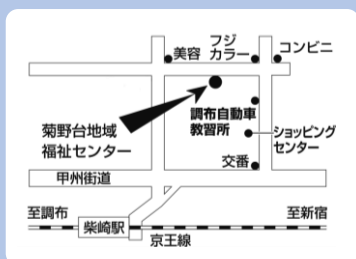
染地3-3-1
染地地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-3790
Mail : somechi@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】渡邊

●西部コーナー



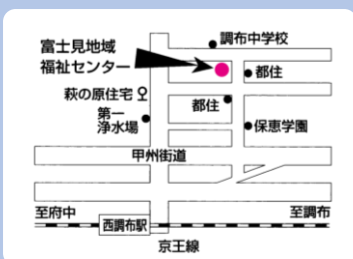
上石原2-15-6
西部地域福祉センター内
TEL/FAX 042-426-4335
Mail : seibu@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】清水

●菊野台コーナー



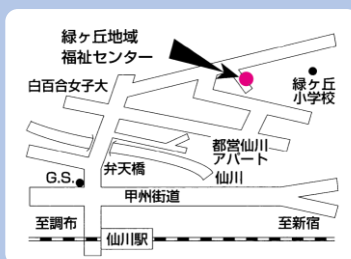
菊野台1-38-1
菊野台地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-6500
Mail : kikunodai@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】青木

●富士見コーナー



富士見町4-15-6
富士見地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-8719
Mail : fujimi@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】岡澤

●緑ヶ丘コーナー



緑ヶ丘2-18-49
緑ヶ丘地域福祉センター内
TEL/FAX 03-3326-4088
Mail : midori@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】伊藤

●野ヶ谷の郷



深大寺東町6-27-3
TEL/FAX 042-481-1838
【開】火・木・土 10:00～16:00
地域のボランティアスタッフが運営しているコーナーです！
ボランティアスタッフを募集しています。